

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	新居浜市立南中学校	住所	新居浜市庄内町2丁目4-47	電話	37-0310
研修日時	令和5年12月18日 月曜日 13時00分～15時30分	研修対象者	南中学校2年生	研修人数	150名
研修場所	南中学校 体育館	研修目的	年間行事防災教育として生徒より避難所運営ゲームの希望がありHUG研修を実施。		
講師	馬越 健	ファシリテータ		アドバイザー	川端・衣川・岡部・菅(春)
				協力者	金子校区・自治会、防災士10名

事前打合せ

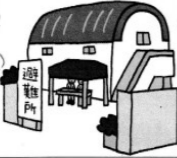
日時	令和5年12月11日 月曜日 16時00分～17時00分	場所	新居浜南中学校
参加者 研修者	坂本校長、担当教員2名	参加者 ネットワーク	馬越 健 リーダー

訓練等指導報告

防災教室（HUG体験）で学んだこと・感想

名前（渡部 晴月）

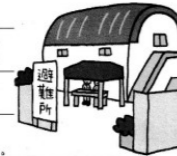
今日、防災教室でやったことは、体育館が避難場所になった時のどのような対応をしたらよいのかなどを考えたりしました。僕の役割は書きと課題を解決するための一歩大だったことは課題に気づくのが最適なかを考えました。解決してしんどいことばかりで、矛盾していることも解決しないかならなくてとても大変でした。他にも解決できない課題が4.5件あったので解決したからです。もしも南海トラフでこのようなことが起きたら自分の命を守るのほかに他人の命も考えたり、助けたりできるようにしたいです。そして今日体験したことをもっとたくさんの人を助れたり、案内したり、課題がすぐに対応できるようにしたい。いい思い出は、HUG体験はとて面白い体験だと思いました。



防災教室（HUG体験）で学んだこと・感想

名前（長谷川 陽希）


僕がHUG体験で学んだことは避難所運営の難しさです。通路の作り方、ペットを飼っている人、持病のある人、車で来たから校庭に停めたい人などいろいろな状況の人がいたので、その人をどうい場所にさせてあげるかを考えていると時間が足りなかったです。けど現実味があり、とても災害の時を想定しているなと思いました。自分も助けられた側ではなく助けられる側になるために知識や訓練をして身に付けていき、災害時に役立つ人になろうと勉強をしたいと思います。



防災教室（HUG体験）で学んだこと・感想

名前（土岐 結乃）


私は、HUG体験をしている中で、人と協力することの大切さを改めて学び、受け入れる側の大変さを知りました。私の役割は（読み書き）だったので、5人5人役割も分担しているし大変だと思っていましたが、とても大変でした。とんぼく避難着の靴は、外国人や子供、体の不自由な人、体調の悪い人や水を飲んでいる人をして、常に悩まながら対応していました。今回はHUG体験という名のゲームだったので、少し短い時間でしたがとても良かったです。これから本場にいった時、悩む時間は無いかもしれませんが、同じ状況になった時、冷静に、もっと早く対応する事ができるようにする為、今回のHUG体験は、とても良い経験になったのではないかと思います。



防災教室（HUG体験）で学んだこと・感想

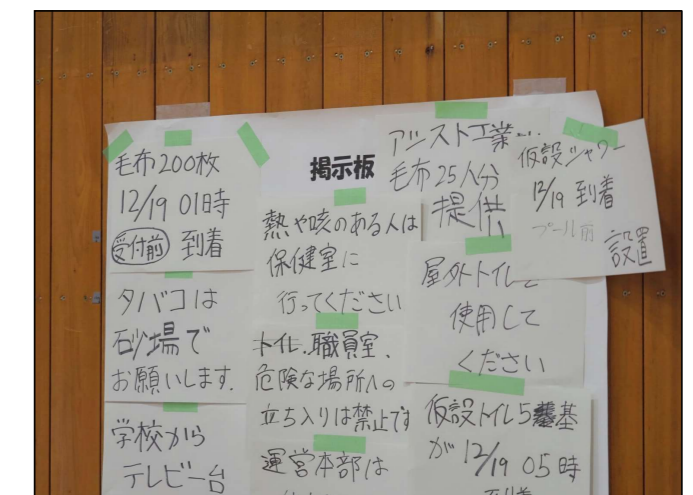
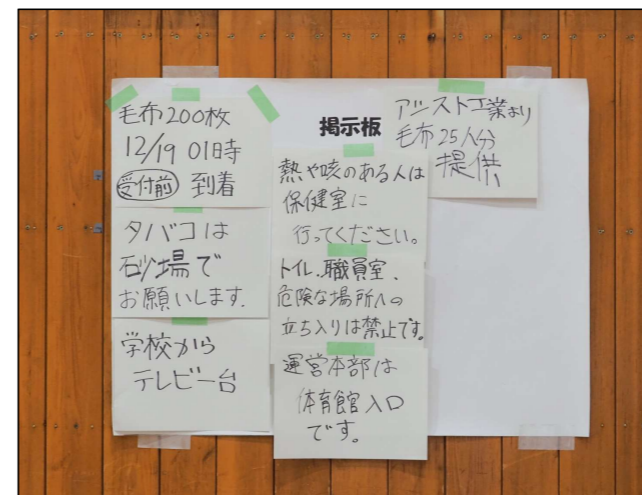
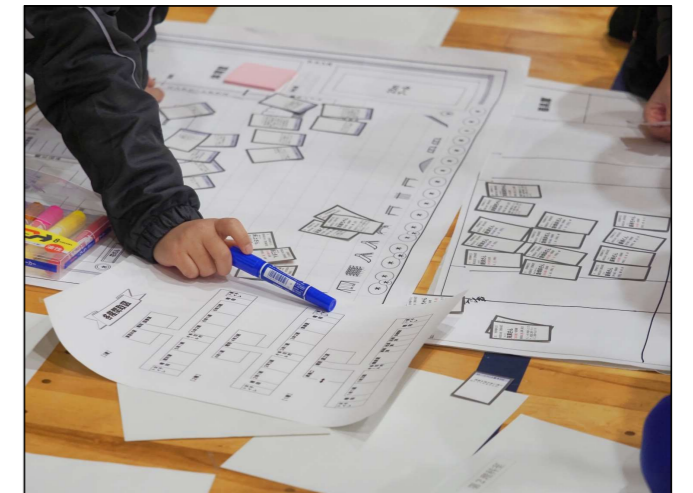
名前（高橋 颯真）

僕は、防災教室のHUGを体験して避難所の運営をすることは、考えることがたくさんあって、難しかったです。その中でも、僕が特に難しいと思ったのは、その人の状況や体調をこうして、部屋割りもしないといけないことです。避難している人の中には、体調が悪かったり、病気にかかっていたり、中には外国人の人もいるので、大変でした。本当にたくさんの方が避難して来た場合、今より考えることがたくさんあると思うので、実際にやる人はすごいと思います。なので、自分ができることを考えて、周りを助けられるようにしたいです。



発行番号No.

令和5年12月18日



講師寸評

生徒会役員が中心に企画し、2年生150名ほどの授業をしました。中学2年生が対象でしたので、講義の内容も理解してもらい、また3年生の生徒会役員も事前講習の成果のあり、後輩を誘導してくれました。とても進行し易い感じで、進められました。また校長も協力的でした。